BEST AVAILABLE COPY

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

- (11) Publication number: JU(SHO)60-18648
- (43)Date of Publication: Feb. 8, 1985
- (51) Int.Cl.:H02K 3/34
- (21)Application number: JU(SHO)58-109663
- (22)Date of Filing: July 13, 1983
- (71)Applicant: MITSUBISHI DENKI
- (54)Slot insulation structure of a Iron Core in a Rotating Electric Machine
- (57)Abstract: Iron core 1 has slots 7 for accommodating coils 2. An insulation member 8 of a tubular type is inserted into each slot 7. The insulation member 8 has a shape similar to the slot 7. Plurality of coils 2 are accommodated in the insulation member 8. The insulation member 8 has a groove 9. Wedge 6 is inserted into the groove 9.



19 日本国特許庁 (JP)

①実用新案出願公開

12 公開実用新案公報 (U)

昭60—18648

5] Int. Cl.4 H 02 K 3 34 識別記号

庁内整理番号 A 7429-5H 發公開 昭和60年(1985)2月8日

審査請求 未請求

(全 頁)

会回転電機鉄心のスロット絶縁装置

顯 昭58-109663

2出

红実

頤 昭58(1983)7月13日

池田悌二 沙考 案

長崎市丸尾町6番14号三菱電機

株式会社長崎製作所内

分考 案 者 渡辺毅

長崎市丸尾町6番14号三菱電機

株式会社長崎製作所内

51出 願 人 三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2

番3号

冗代 理 人 弁理士 大岩増雄

外2名

1. 考案の名称

回転電機鉄心のスロット絶縁装置

2. 実用新案登録請求の範囲

厚御板を切断して形成した鉄心のコイルを収納するスロット内に、スロットの形状をした絶縁材を挿入するとともに、この絶縁材の開口部に凹凸構を設け、この溝内にウェッジを挿入して係着したことを特徴とする回転電機鉄心のスロット絶縁接置。

8. 考案の詳細な説明

この考案は回転電機鉄心のスロット内の絶縁装 置に関するものである。

従来この種の絶縁としては第1図、第2図に示す方法がとられていた。第1図において、(la)は薄鋼板を打抜き、コイル(2)を収納するスロット(7)を有しているコアで、複数枚積み重ねて回転電機の鉄心プロック(1)を形成している。(3)はコイル(2)と鉄心との間の絶縁をするための絶縁材である。コイルと鉄心間の電圧が低い場合には、スロット



(7)内に絶縁材(3)を挿入し、コイル(2)の素線にはワニスを付着させ絶縁皮膜(6)を形成させたものを使用している。コイルと鉄心間の電圧が高い場合には、コイル素線に絶縁したものにさらに外被(4)で絶縁する。さらに高圧の場合には上記両者を併用する場合もある。(6)はウェッジである。

このような従来のスロット内の絶縁では素線絶縁を施したものを東ねて絶縁皮膜をテーピングスロットの対法精度を厳していたがあった。またットの対法精度を厳しくする必要があった。またスロットの絶縁材を挿入するチャのものがあった。上記いずれのようながあった。上記いずれの場合にも鉄心を軸に積み重ねた後にスロットに絶縁があった。スロットに絶縁があった。

この考案は上記のような従来のものの欠点を除去するためになされたもので、厚鋼板を切断してなる鉄心プロック毎にコイルの入るスロット内部の絶縁のため、予めスロット形状をした絶縁材を



挿入しかつこの絶縁材の開口邸に凹凸のウェッジ 挿入溝を形成することによつて、スロット加工の 寸法精度を従来のものほど厳しくする必要がなく、 安価で信頼性の高いスロット絶縁が可能となる。

以下との考案の実施例を図について説明する。 第5図において、①は厚鋼板を切断し、コイルを 収納するスロツト(7)を有している鉄心、(8)は上記 スロット(7)に挿入されるスロット形状の絶縁材で、 開口端部に凹凸形状の溝(9)を有し、この溝(9)にウ ェッジ(8)が挿入係着されている。なお叫はウエツ ジ(6)を打込む時にコイル(図示していない)を損 傷しないように入れたものである。このようなも のにおいて、鉄心口のスロット(7)に、コイルを収 納するスロット形状の絶縁材間を予め挿入してお き、この鉄心プロツク(1)を軸人れした後にコイル 入れを行なえば、素線絶縁を施したコイルを簡単 に挿入することができ、鉄心とコイル 間の 電圧が 高圧のものまでコイルに絶縁材をテーピングする ことなしに簡単にスロット絶縁ができるので、安 価で信頼性の高い回転観機の提供できる。



ところで厚鋼板を切断によつて得る鉄心は、スロット形状寸法精度は従来のプレスでスロットを打抜く方式の鉄心に比べて寸法精度が悪く、軸に橙層した時、スロットが軸方向に若干のズレを生じ、絶縁紙及びコイル入れ作業や、ウェッジを打ち込む作業性が悪かつた。

そこで本考案ではこのスロット形状をした絶縁材(B)にウェッジ(G)を打ち込むための凹凸の溝(B)を形成し、この溝にウェッジを打ち込むようにしたものであり、この時ウェッジとして若干弾性を有するものにしておけば、スロットのズレを吸口ットのオープニング部にウェッジを打ち込む凹凸部をつければ、スロット内にコイルを入れる面積が大巾に増加する効果を有する。

なお上記実施例では、絶縁材(8)は凹凸形状の海(9)を有するものを示したが、第6図、第7図に示すように凸部叫を有するものでもよく、また第8図、第9図のように凹部以を有するものでもよい。

以上のようにこの考案によれば、鉄心のスロッ



ト内に該スロットと同じ形状をした絶縁材を挿入し、かつその絶縁材にはウェッジを打ち込むための溝を有しているので、若干スロットがずれてもウェッジを容易に打ち込むことができるとともに、スロット内面積を大きくできる効果があり、回転 電機を小形化できるメリットがある。

4. 図面の簡単な説明

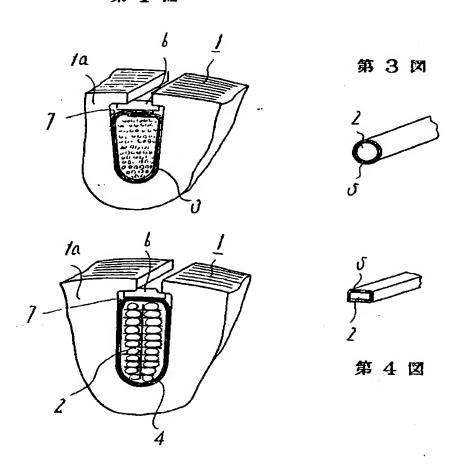
第1図、第2図は従来の回転電機のスロット部の斜視図、第8図、第4図はコイル素線を示す斜視図、第5図はこの考案の一実施例による回転電機のスロット部の断面図、第6図~第9図は夫々この考案の他の実施例を示すスロット部の断面図である。

図中、(1)は鉄心、(7)はスロット、(8)は絶縁材、(8)は溝、(1)は凸部、(2)は凹部である。

尚、図中同一符号は同一又は相当部分を示す。 代理人 大 岩 増 雄



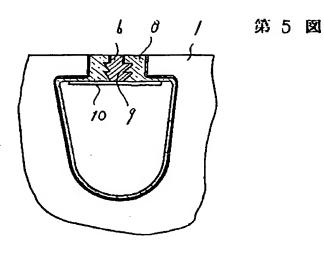
第 1 図

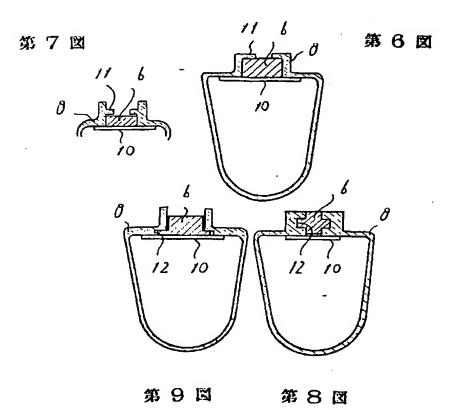


第 2 図

570

実門60-19048 代理人 大 岩 増 雄





571

事期的-18648 代理人 大 岩 増 雄

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
☐ OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.